

# 児童発達支援自己評価表

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 3月 23日

事業所名 スパーク草津店

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーティションを設け、必要に応じて部屋を分ける等、工夫している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		法令で必要とされている配置数以上を配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		遊ぶスペースと事務所は、ドアで完全に分かれており、特性に合わせて療育道具を設置する等、配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		スタジオや療育道具は、毎療育後に消毒を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		朝礼時に目標の暗唱、定期的な個人面談等、常に目標や課題を意識できるよう、工夫している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様からいただいた意見をもとに、新型コロナウイルス感染対策等の見直し、実施を行っている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価は実施していない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に研修の機会を設けている。	
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		児童発達管理責任者を中心に、全職員と連携を取りながら作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		スパーク協会が独自に設けたアセスメントツールを使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		家族への聞き取りのもと支援計画書を作成し、必要に応じて家族支援の項目も追加している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		毎療育前に、支援計画とともに子どもの様子を共有し、療育内容の打ち合わせを行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援計画をもとに、必要なアプローチ等話し合っている。	

援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもの興味に寄り添い遊びが中心となるので、プログラムは固定化し辛い。また、直近の療育内容を確認し、プログラムに変化を付けるように工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		子どもの興味に合わせて遊びを展開し、必要な場面で、他児との関わりに繋がるよう、アプローチしている。	

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎療育前に、支援計画とともに子どもの様子を共有し、療育の打ち合わせを行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		サービス提供記録とは別に、毎療育後に振り返りシートにて療育内容の振り返りを行っている。療育後の共有が難しい場合は、上記のシートを活用し、情報共有の漏れがないように取り組んでいる。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎療育後、サービス提供記録を記入している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		少なくとも6ヶ月に1回、児童発達支援管理責任者を中心に行っている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○	今年度は開催されていないが、会議が開催された際は、児童発達支援管理責任者、もしくは事業所の管理者が出席している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		草津市発達支援センター、その他市町の関係機関と必要に応じて連携をとっている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	該当者なし。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	該当者なし。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて、関係機関と連携をとっている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	事業所と学校が直接連携は取っていないが、保護者様を通して、必要な情報を共有してもらっている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて、連携をとっている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	実施していない。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		協議会や研修がある際は、積極的に参加するようにしている。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎療育後に、子どもの様子について話す時間を設けている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	プログラムとして設けてはいるが、場面に依りて、療育への参加を促している。	
保護者への説明	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際に実施している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約後、モニタリング後に、保護者へ説明の上、同意いただけた場合、署名捺印をいただいている。	

責 任 等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて実施している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者会等は実施していない。また、個別療育であるので、そのような会を望まれない声もある。	
非 常 時 等 の 対 応	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申入れがあった場合、全職員に共有し、対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	SNSを通して、情報の開示はしているが、定期的には行えていない。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		同意書のもと、使用の際は、事前の許可をいただいている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもや保護者に合わせてアプローチしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	1時間の療育のため、地域との交流等、実施していない。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		周知は行っているが、訓練は、職員のみで実施している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		半年に1回実施している。今後は利用時間中の訓練も検討していく。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		保護者に確認し、最新の情報を確認している。		
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	療育中に食事の時間はないため、医師からの指示等は受けていない。契約時にアレルギー等に関する確認は行っている。		
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		作成、共有し、保管している。		
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を実施している。		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	支援計画書に記載していないが、やむを得ず身体拘束を行う場面については、契約の際に、説明している。		